



きりん組だより

2022. 1月 尚徳福祉会 坂戸保育園

子どもたちの元気な声や、挨拶と共に新しい年がスタートしました。「じいじや、ばあばの所に行ったよ!」「お年玉をもらったよ!」と休み中の出来事を嬉しそうに話してくれました。今年度も残り少しですが一日一日を元気に楽しく過ごしていきたいと思います。



1月生まれのお友だち

お誕生日おめでとう

～げんきでね～

12月末でお友だちがひとり退園しました。最後の日にお別れ会をして、みんなで描いた絵をプレゼントしました。1月からは会えなくなるのですが、未だに6月に退園したお友だちのことを「いつ来るの?」と聞いてくる子どもたち。担任が「〇〇さん元気だね。」と声を掛け「みんなも何か言ってあげたいことあるかな?」と問いかけると「・・・。」やはり3歳児には解らないかな?とっていると、ひとりの子が、その子の前に出てきて「〇〇くん、遊んでくれて、ありがとう。」と気持ちを伝えました。すると次々に、周りに集まってきて「またあそぼうね。」「げんきでね。」と思いを伝える姿がありました。お別れの意味を理解しているかはわかりませんが心の成長を感じたひと時でした。

～雪遊びしたよ～

数年ぶりに雪が積もりました。朝から「今日お外に行く?」と何回も聞いてくる子どもたち。防寒をしっかりとすると白い園庭に飛び出していました。「せんせい、雪だるま作って～。」3歳の小さな手では雪を丸くするのは難しいようで何個も作るはめに(笑)。雪をバケツに集めたり、砂場の日よけに積もった雪を降ろしていると真下に来て雪を浴びている子もいました。もちろん「寒い!」「冷たい!」と早々に切り上げてしまう子も居ましたが、みんなそれぞれに雪を感じていました。



こんな絵本を読んでいます

てぶくろ

おじいさんが雪の上に落とした手袋にいろいろな動物がすみ始めます。

おなかのなかにおにがいる

豆まきで、おなかの中にいる鬼を追い出したのですが…。

